

橋梁MAEの活動状況

橋梁MAE（メンテナンス・アシスタント・エンジニア）とは？

橋梁の構造、劣化原因、補修工法等に関する基礎知識及び「長野県道路橋定期点検要領」に基づく点検技術を習得し、小規模橋梁※の点検ができる技術者。

※小規模橋梁とは、比較的点検が容易で構造が単純な橋長が概ね10m未満の橋梁

橋梁MAEの養成は、平成元年度より取り組みを進めており、令和4年度末までに、392名を認定・登録しています。

橋梁MAEの約4割を占める「市町村職員」の認定・登録者について、活動実態を調査しました。



市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

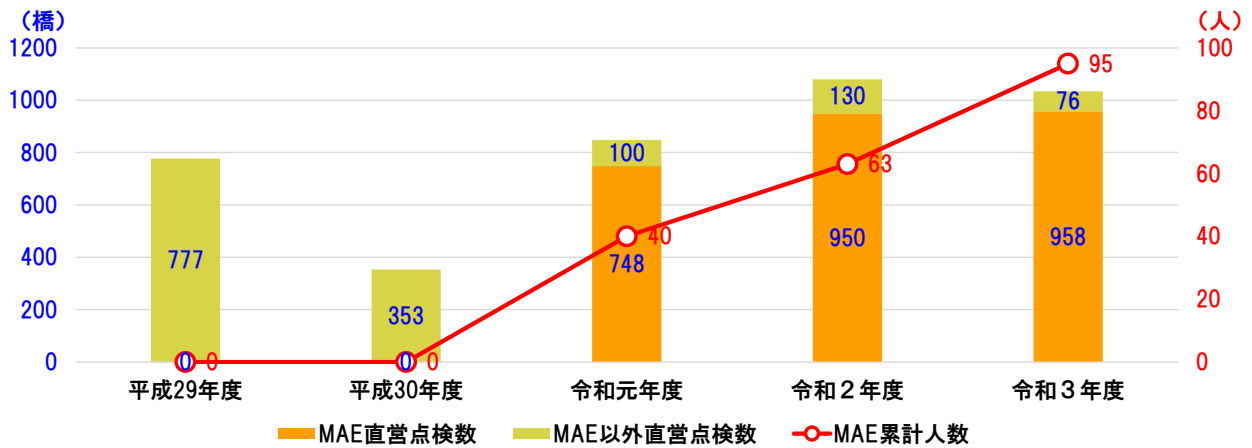
- ・調査期間 令和4年7月6日(水)～19日(火)
- ・調査方法 アンケート形式
- ・調査対象 調査時点で橋梁MAEの認定登録者を有する32市町村
- ・有効回答 27市町村
- ・調査内容 年度毎の認定登録者数、直営点検橋梁数、橋梁MAEが関与した直営点検橋梁数、橋梁MAEの効果、橋梁MAEによる直営点検の課題、直営点検の今後の予定、橋梁MAEが関与した直営点検の今後の予定、橋梁MAE取得の今後の予定



など

市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

(1) 橋梁MAEによる直営点検の推移

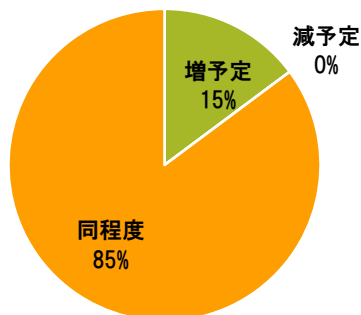


- ・ 橋梁MAE直営点検数には、橋梁MAEが直接点検した場合の他に他職員の点検結果を確認した場合等も含まれます。
- ・ 橋梁MAEを有する市町村全体では、直営点検の約9割に橋梁MAEが関与していました。
- ・ 1巡目点検(H26～H30)は年度毎の点検数にバラツキがあるため単純比較はできませんが、直営点検は増加傾向にあると思われます。

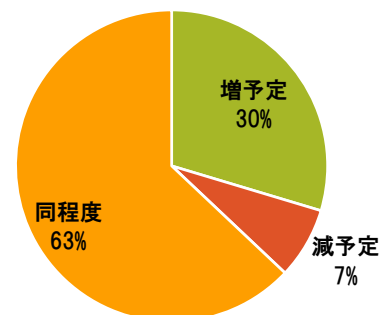
市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

(2) 直営点検を行う橋梁数の今後の予定

①直営点検数



②橋梁MAEによる直営点検数



『②橋梁MAEによる直営点検数』を増予定としている理由

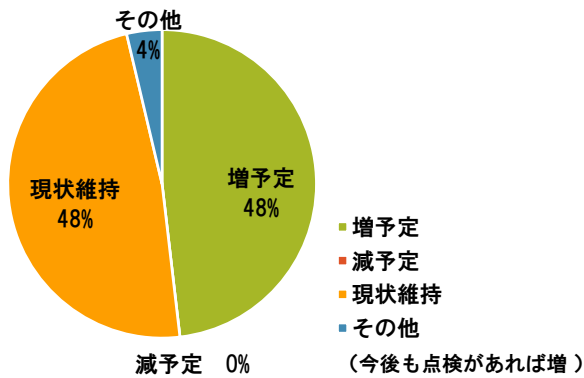
- ・ 点検費用(委託費)削減のため、橋梁MAEを増予定のため、点検技術や知識の向上のため

『②橋梁MAEによる直営点検数』を減予定としている理由

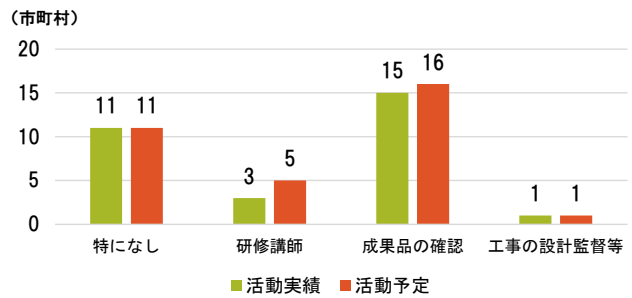
- ・ 職員数が減少しているため、他業務の増大によるため、使われていない橋梁(木橋)を廃止予定のため

市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

(3) 橋梁MAE取得者の今後の予定



(4) 橋梁MAEの直営点検以外の活動状況



※複数回答
 ※研修講師には市町村内での研修講師のほか、インターシップへの指導 1 市町村を含む

(5) 橋梁MAEによる直営点検で困った点、不都合な点等の課題

- ・点検後の結果とりまとめには、多く時間を取られている。
- ・橋梁点検数が多く、長時間を要す。
 ☞「点検結果からの調書作成支援ツール」など新技術の活用が有効です
- ・経験が浅いうちは、橋梁ごとの技術者判断が難しい。
 ☞信州橋梁メンテナンス支援協議会では、相談窓口を開設しています。
 ☆協議会ホームページ： <https://www.pref.nagano.lg.jp/michikanri/mae.html>

市町村における橋梁MAE活動状況調査結果について

(6) 橋梁MAEによる直営点検の効果をどの様に感じているか

点検にかかる費用の削減につながる。

適切な橋梁修繕・長寿命化計画の策定・執行にもつながっている

直営点検をすることにより、技術者育成につながっている

必要な知識を学んでいるため、判定にかかる時間や精度が上がり、スムーズに点検作業が行える。

着目ポイントを分かっており、点検様式の作成もできるため有益

点検要領に基づく現地での点検及び調書作成においても指導することができるため、橋梁MAEの効果は大きい

MAE講習を受けていないと分からない点があるため、MAEが関与することに効果を感じている

橋梁MAEを有する職員同士で判定区分の意見も交わせる

直営点検の精度向上および技術向上に効果があった

判定区分を決める際に現場で素早く判定でき、点検時間の効率化に繋がる